

埼玉県エコアップ認証事業所

取組実施状況報告書

記入要領

(例：建設土木業)

令和4年4月

埼玉県

環境部温暖化対策課

1. 記入要領について

- 「埼玉県エコアップ認証制度実施要綱」第14条第2項に基づく 様式第4号「埼玉県エコアップ認証事業所 取組実施状況報告書」の作成例とその記入上の留意点を示します。
- **Word様式とExcel様式があります。それぞれの機能は異なりますが、書式、記入内容はほぼ同じです。**
- 記入例は建設土木事業者の令和3年に報告する場合を例として示します。本記入例はあくまで一例であり、取組、記述内容については自事業所の実状に即した内容を記載してください。
- **Word様式を利用する場合は、記述内容の多寡に合わせ、読みやすい配置にするために、ページレイアウトは変更をして構いません。(各項の順番・構成の変更はできません。)**
- **Excel様式についてはページの変更はしないでください。ページ変更や増ページ、シートの名前の変更をすると、マクロの機能がうまく使用できなくなります。記入内容は文字サイズなどを縮小して、それぞれのページシート内に収まるよう記載してください。**

2. 取組実施状況報告書提出について

- 報告書提出対象は、エコアップ認証を取得している事業所です。
- 報告書は正本1部と巻末に記載ある提出書類（県様式）1式を提出します。
（電子ファイルでの提出で可。電子ファイルの場合、任意様式の添付書類は必要部のみにする。）
- 報告書は毎年7月末までに必ず提出してください。

様式第4号（第14条関係）

埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書

①

令和3年〇月〇日

（あて先）

埼玉県知事

②

報告者 氏名又は名称 株式会社 県庁土木建設工業
住 所 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1
法人の場合は代表者の氏名 代表取締役 埼玉 守
電話番号 048-830-3044

埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第14条第2項の規定により、次のとおり報告します。

事業活動の概要

③	ふりがな	けんちょうどぼくけんせつこうぎょう			
③	事業所の名称	株式会社 県庁土木建設工業 本社 〇〇支店、〇〇営業所			
④	事業所の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1（本社） 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市新宿町 1-1-1（〇〇支店） 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市本町 3-9-1（〇〇営業所）			
⑤	事業の内容	土木・建築一式請負 設計・施工・監理			
⑥	事業の規模	資本金（万円）	1億円	主要製品	各種建築物
		従業員人数（人）	68人	事業所の敷地面積（㎡）	1,500㎡
		（ ）		事業所の延床面積（㎡）	511.55㎡
⑦	地球温暖化対策推進者名	役職 総務部長	氏名 埼玉 次郎		
⑧	担当者	所属 工務部	氏名 埼玉 太郎		
⑨	連絡先	電話 048-830-3044	fax 048-830-4777 電子メール A3030@pref.saitama.lg.jp		

- ① 「報告年月日」
 - ・ 窓口に提出する場合は提出日を、郵送する場合は、発送日を記入します。
- ② 「報告者」
 - ・ 事業者名、住所、代表者（代表者印は不要）、連絡先を記入します
- ③ 「事業所の名称」
 - ・ エコアップ認証事業所の名称を記入します。複数の事業所を認証対象としている場合は、認証範囲の事業所（支店、営業所等）をすべて記入してください。
- ④ 「事業所の所在地」
 - ・ エコアップ認証事業所の所在地を記入します。なお、複数の事業所がある場合は、認証範囲の事業所（支店、営業所等）の所在地も記入してください。
- ⑤ 「事業の内容」
 - ・ エコアップ認証事業所の事業内容を記入します。
- ⑥ 「事業の規模」
 - ・ 資本金、主要製品、従業員人数（パート、臨時職員等も含む）、事業所の敷地面積、延床面積、年間製品出荷額、年間生産量など、事業の規模が分かる事項を外部に公表できる範囲で記入します。
- ⑦ 「地球温暖化対策推進者」
 - ・ 地球温暖化対策推進者の役職と氏名を記入します。
- ⑧⑨ 「担当者」、「連絡先」
 - ・ 記載内容の問い合わせなどの連絡をさせていただく場合の担当者の所属、氏名及び連絡先の電話番号、Fax、電子メールアドレスを記入します。

1 環境方針 ※（見直しを行った場合、記載すること）

⑩	制定日 平成27年12月16日	改訂日 令和3年3月29日
5. 地球温暖化防止と生物多様性に配慮した事業活動を推進する旨を追記改訂した。（詳細は、別添のとおり）		

2 環境負荷の現状

(1) 環境保全の取組のチェック結果 ※申請時からの達成率の変化状況

⑪	項目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
	達成率	82%	100%	94%	100%	-
	前回認証時達成率	67%	80%	67%	67%	-
	項目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
	達成率	70%	74%	80%	55%	
	前回認証時達成率	50%	38%	72%	55%	

(各項目の取組に関する情報・説明) ※当期に取り組んだ事項を記載する。

< 廃棄物 >
 ・最終産廃処分場を現地立ち会いし、最終処分状況を調査した。

< 大気・水質 >
 ・アイドリングストップ、エコドライブの周知徹底を図った。

< 化学物質 >
 ・使用塗料のSDSを入手し、作業員に周知させた。

< 節水・水 >
 ・全部の水道栓に節水コマをつけた。

< グリーン購入 >
 ・社員の作業着（リサイクル繊維使用）等エコマーク商品の物品を購入しているが、達成率が38%と低い。今後は、購入先リストを作成し充実させる。

< 環境教育 >
 ・県の産業廃棄物研修会に2名参加させた。（令和元年〇月）

< その他 >
 ・取組活動をSDGsの目標に展開させ、社の行動表を作成した。
 ・工業高校の生徒のインターンシップを受け入れた。
 ・さいたま緑のトラスト基金に寄付した。

⑩ 「1 環境方針」

- 事業所の環境方針の作成日を記入します。
- 改訂があれば改訂日を記入し、簡潔に改訂の内容を記載します。

⑪ 「2 環境負荷の現状（1）環境保全の取組のチェック結果」

- 「環境保全に関する取組チェックシート」によるチェック結果を記入します。
下段には、前回認証時の達成率を記入します。
- 「取組に関する情報・説明」欄については、前回認証後から、この1年間で新たに取組んだ内容や、継続している取組など、取組に関する説明などを記入します。
- 表の項目を<タイトル>として、各項目の特色ある取組を具体的に記載します。また、達成率の低い原因や今後の取組改善策なども記入してください。

※シートのチェック範囲は認証範囲だけでなく、事業者の関わる全事業範囲が対象です。

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 建物系CO₂排出量

項 目		29 年度	30 年度	31/1 年度	2 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	36.0	35.0	36.0	34.0
原単位	t-CO ₂ /m ²	0.0692	0.0672	0.0692	0.0653
原単位の指標数	床面積 m ²	520.55	520.55	520.55	520.55

イ) 工場・現場系CO₂排出量

項 目		29 年度	30 年度	31/1 年度	2 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	127.0	136.0	113.0	118.0
原単位	t-CO ₂ /トソ	0.1438	0.2610	0.1146	0.1093
原単位の指標数	生産量 t	883	521	986	108

ウ) 自動車系CO₂排出量

項 目		29 年度	30 年度	31/1 年度	2 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	113.4	124.7	122.9	116.1
原単位	t-CO ₂ /台	3.3353	3.2816	3.2342	3.1378
原単位の指標数	車両台数 台	34	38	38	37

エ) (ア+イ+ウ) 合計

項 目		29 年度	30 年度	31/1 年度	2 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	276.4	295.7	271.9	268.1
原単位	t-CO ₂ /億円	7.2737	7.3925	6.6317	6.2349
原単位の指標数	売上額 億円	38	40	41	43

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の実績

年度	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	基準値 (t-CO ₂)	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)	CO ₂ 原単位 (売上金額当たり) (t-CO ₂ /億円)	基準値 (売上金額当たり) (t-CO ₂ /億円)	増減量 (売上金額当たり) (t-CO ₂ /億円)	増減率 (%)
1 年度	271.9	282.4	△10.5	△3.7	6.6317	7.0600	△0.4283	△6.1
2 年度	268.1	282.4	△14.3	△5.1	6.2349	7.0600	△0.8251	△11.7
3 年度								
平均増減率				△4.4				△8.9

4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明 (対象年度に取り組んだ対策、取組を記載する。)

- ・ 今期は空調の運転方法の変更、照明のLED化で建物系電力量を削減、建物系CO₂排出量を抑えた。
- ・ 重機については、省エネ機に1台更新(令和2年10月)し、工事量は前年比10%ほど増加したが、CO₂排出量の増加を微増に抑えた。2年度以降はさらにその効果が発揮できる。
- ・ 自動車については、1台廃車し、台数を削減したことにより自動車系CO₂排出量を削減することができた。(令和元年11月に購入)

⑫ 「(2) 環境への負荷のチェック結果」

- この表のCO₂排出量は、県HPに掲載されている「エコアップ認証CO₂排出量換算シート」#7シート(Excel様式)を利用し算出します。

その計算結果数値(小数点以下桁数も)をそのまま、報告書の表に転記することで簡便に作成することができます。

Excel様式ではマクロ機能を利用して少ない操作で数値の転記が可能です。

- ア)にはエコアップ認証の対象となっている事業所の建物からのCO₂排出量及び活動規模あたりのCO₂排出量(原単位)を過去4年間分記入します。該当があれば、イ)には工場・現場系の生産や現場作業によるCO₂排出量、ウ)には道路を走行する自動車燃料に関するCO₂排出量、エ)にはア～ウの合計値について、それぞれ過去4年間分のCO₂排出量を記入します。

- 「CO₂排出量」の単位はトン(単位:t-CO₂)とし、小数点第2位以下を四捨五入して小数点第1位まで、「原単位」は小数点第5位以下を四捨五入して小数点第4位までの数値を記入します。

- ア)、イ)、ウ)、エ)のCO₂排出量の原単位及び原単位算出には、事業所の状況に照らして、それぞれにふさわしい「活動規模の指標」及びその数値を記入します。(ア、イ、ウ、エで、それぞれ異なった「活動規模の指標」となって構いません)

- (活動規模の指標の例):事業所の敷地面積、延床面積、売上金額、製品出荷額、就業時間、年間生産量、従業員数、自動車台数、総走行距離など。様式で予め用意した活動指標に、自事業所にふさわしい指標がない場合は、別途作成し、選択します。

※原単位とは、CO₂排出量を延床面積等活動規模の指標で除した値のこと。

⑬ 「(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の実績」

- この表は認証時の申請書で掲げた排出量目標表に対する実績報告となります。したがって、認証(更新)時の目標表の最初の年度からの実績を記入します。(例は認証時での1～3年度3か年削減目標に対する実績報告となります。)

- 「CO₂排出量」と「CO₂原単位」欄は、(2)のエ)合計の欄の数値を示します。

- 「基準値比増減量」は、各年度の基準値との増減量(差)を示します。

- 「基準値比増減率」は、各年度の基準値との増減率を示します。

- 「平均増減率」は、「基準値比増減率」の平均値を示します。

⑭ 「(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明」

- (3) CO₂排出量及び原単位の実績について、直近年度での実績や削減できた理由、達成できなかった理由に関する説明を記載してください。目標を達成できていない場合、今後の対応や見通しなども記載してください。

3 取組及び対策状況、結果の評価、見直しの説明（P D C Aの状況）

（1）今期に取り組んだ対策、次年度への取組に関する情報・説明

（対象年度におこなった内容、変化した管理事項も記載する）

15

- ①引き続き、空調温度の適正化（冷房28度、暖房20度）に努めた。
- ②空調機のフィルター清掃（毎月）を行い機器性能の維持に努めた。しかし、すでにフィルターの清掃が行き届いており、効果は少ない。
- ③朝の空調一斉スタートをやめ、運転時間を10～19時、9時～18時のグループに分けた。
- ④エレベーターの利用は荷物の運搬時に限定した。
また、帰階方式から乗り捨て方式に運転制御を変更した。（基準階に戻さない）
- ⑤事務所空調機が老朽化しており、来期更新を決定した。
- ⑥2階事務所の照明をLED照明器具に取り替えた。
- ⑦車両のうち、社有車1台を廃車し、台数を37台とした。

（2）目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

16

- ・直近の内部監査実施日 令和2年10月21日
- ・地球温暖化対策推進者を中心にして、各責任者が目標達成と取組の進捗状況を毎月、確認・点検を行っている。
- ・電力の集計を早め、問題点の部門へのフィードバックを早めることで、原因究明の精度が高まり、対策の有効性があがった。
- ・内部監査で目標達成プログラムについて、軽微な指摘が1件あった。
- ・内部監査での指摘について、是正措置報告を行うとともに、他部門への水平展開を行い、再発防止を図った。

（3）代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

17

- ・直近のマネジメントレビュー日 令和2年12月2日
- ・廃棄物のリサイクル率が目標値の70%を達成（73%）したため、85%に見直しした。
- ・建物系CO₂原単位は改善されているが、県平均と比べて高い原因を調査するよう指示を受けた。調査結果については利用状況の問題点を報告した。
- ・見直しした結果、指示事項について、各責任者を通じて部門会議で全従業員に伝達を図った。

4 公表 （取組実施状況報告書（エコアップ認証）の公表状況）

18

- 公表方法は次のとおり
- 事業所：さいたま市浦和区高砂3-15-1
- 時間：9:00～17:00（土・日・祭日を除く）
- 場所：担当部署 総務課
- 電話：048-830-3044
- ホームページアドレス：www.〇〇〇〇
- その他：温暖化対策計画書も同時に公開

3 取組及び対策状況、結果の評価、見直しの説明（PDCAの状況）

⑮ 「(1) 二酸化炭素削減の取組結果」

- ・事業所における省エネルギー対策やCO₂排出量又は原単位の削減に関するこれまでの取組や管理項目、今後の計画などについて記入します。
できるだけ具体的な実施項目とその内容を記載してください。

⑯ 「(2) 目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況」

- ・目標の達成状況と取組の実施状況についての確認・点検概況を記入します。
- ・直近の内部監査日を記入し、その概況を記載してください。
- ・確認・点検結果に基づく対応状況についての概要を記入します。

⑰ 「(3) 代表者等による全体の取組の評価・見直し概況」

- ・代表者等による全体の評価・見直しの概況を記入します。
- ・直近のマネジメントレビューの実施日とその概況を記載してください。
- ・見直し結果の従業員への伝達状況の概要を記入します。

⑱ 「4 公表（取組実施状況報告（エコアップ認証）の公表状況」

- ・取組実施状況報告の公表状況（方法等）を記入します。

①

提出書類

項目	提出書類（一部）
1 エコアップ取組実施状況報告書	①報告書（1ページ～4ページ）＊ ・目標値の変更があった場合（目標変更ページ） ・追加事項がある場合（ワード版は逐次ページ追加する） ＊目標変更は県との事前協議が必要です。
2 エコアップ認証EMS関連	①環境保全に関する取組チェックシート＊ ②燃料等使用量の単位換算（建物系）、算定報告様式（建物系）＊ ③燃料等使用量の単位換算（工場・現場系）、算定報告様式（工場・現場系）……対象があれば＊ ④自動車燃料に関するCO ₂ 排出量（自動車燃料チェックシート）＊ ⑤廃棄物等排出量実績（自己排出分）＊ <注>②、③、④は同一ファイル「CO ₂ 排出量換算シート」 ＊「CO ₂ 排出量換算シート」#6、#7シートも（必要に応じ#8）も添付する。 ⑥その他必要と認める書類（任意）
3 二酸化炭素削減対策等	①二酸化炭素削減対策等チェックシート＊ ②その他必要と認める書類

※提出必要書類

取組実施状況報告書（様式第4号）提出の際は、以下の「提出書類」も併せて提出してください。

⑩ 「提出書類」……本シートの提出は不要です。

1 エコアップ取組実施状況報告書

- ①報告書本体は基本は表紙を含めて4ページです。必要がある場合には、目標変更ページや補足ページを追加してください。

2 エコアップ認証EMS

- ①現時点で評価した「環境保全に関する取組チェックシート」を提出します。
- ②～④ 県HPに掲載されている「エコアップ認証CO₂排出量換算シート」(Excel様式)より、②燃料等使用量の単位換算(建物系)…#1, 2シート、③燃料等使用量の単位換算(工場・現場系)…#4, 5シート、④自動車燃料に関するCO₂排出量(自動車燃料チェックシート)…#3シートのうち該当のあるものを提出します。
併せて、#6、7、8シートを添付します。また、必要のある場合はその他シートも追加して添付します。
- ⑤ 自己排出分の「廃棄物等排出量実績」を提出します。事業所からの事業系一般廃棄物は少量でも、計量される重量の正確性の担保が必要です。事業所から排出される産業廃棄物がある場合も記載します。
※廃棄物実績については直近2年以上の実績を添付します。

《以下の必要であれば、任意で提出します。》

- ⑥ その他の必要と認める書類について提出します。(様式自由です)

3 二酸化炭素削減対策等

- ① 二酸化炭素削減対策等関係では、現時点で評価した「二酸化炭素削減対策等チェックシート」を提出します。

環境への負荷低減の目標…申請時より目標を変更した場合に記載する。(県との事前協議が必要)

(1) 二酸化炭素の削減目標

ア) 認証時の目標表 基準値 (~ 平均)

年度	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	基準比 増減量 (t-CO ₂)	目標比 増減率 (%)	CO ₂ 原単位 (当たり t-CO ₂ /)	基準比 増減量 (当たり t-CO ₂ /)	基準比 増減率 (%)
基準値						
年度						
年度						
年度						
平均増減率						

イ) 変更後の目標表 基準値 (~ 平均)

年度	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	基準値 (t-CO ₂)	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)	CO ₂ 原単位 (当たり t-CO ₂ /)	基準値 (当たり t-CO ₂ /)	増減量 (当たり t-CO ₂ /)	増減率 (%)
⑳								
年								
年								
年								
平均増減率								

(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明

○変更の事由、見直し数値の妥当性の説明を記載します。

㉑

(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及びその情報・説明

○変更の事由を記載します。

㉒

環境への負荷低減の目標

※本シートは認証時の目標値、基準値を変更する場合に使用します。変更がなければ本シートの提出は不要です。提出に際しては、県との事前協議が必要です。

⑳ 「(1) 二酸化炭素の削減目標」

- ・「目標」を見直して、変更した場合には、その目標値を記入します。
変更がない場合は「現行の目標(計画)を継続する」旨を記入してください。
※申請時の目標を変更する場合は、事前に県と協議をしてください。

㉑ 「(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明」

- ・二酸化炭素排出量及び排出原単位の削減目標を変更した場合、その設定に関する考え方や目標の内訳などを記入します。

㉒ 「(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及びその情報と説明」

- ・二酸化炭素排出量以外の項目で事業活動に影響を与える項目の低減目標、目標設定に関する考え方や目標の内訳などを変更した場合に、目標値等を記入します。

㉓ Excelマクロ版の機能

- ・Excel版には表に計算式等が埋めこまれています。CO₂量数値や原単位指標を記入するだけで原単位値が算出され、表が完成します。
- ・マクロを有効にすることで、「CO₂排出量換算シート」ファイルから数値データを自動転記することができ、書類の作成の手間を大幅に省略できます。

※詳しい機能の利用方法はExcelファイル内の説明をお読みください。